

## 第1部 東京都からの情報提供

- (1) ポートヌィク・トーキョー活動報告
- (2) 活動から見えてきた課題と対応
- (3) 今後の取組の方向性**
- (4) 質疑応答

## 地域における連携、及び、地域を超えた連携の推進

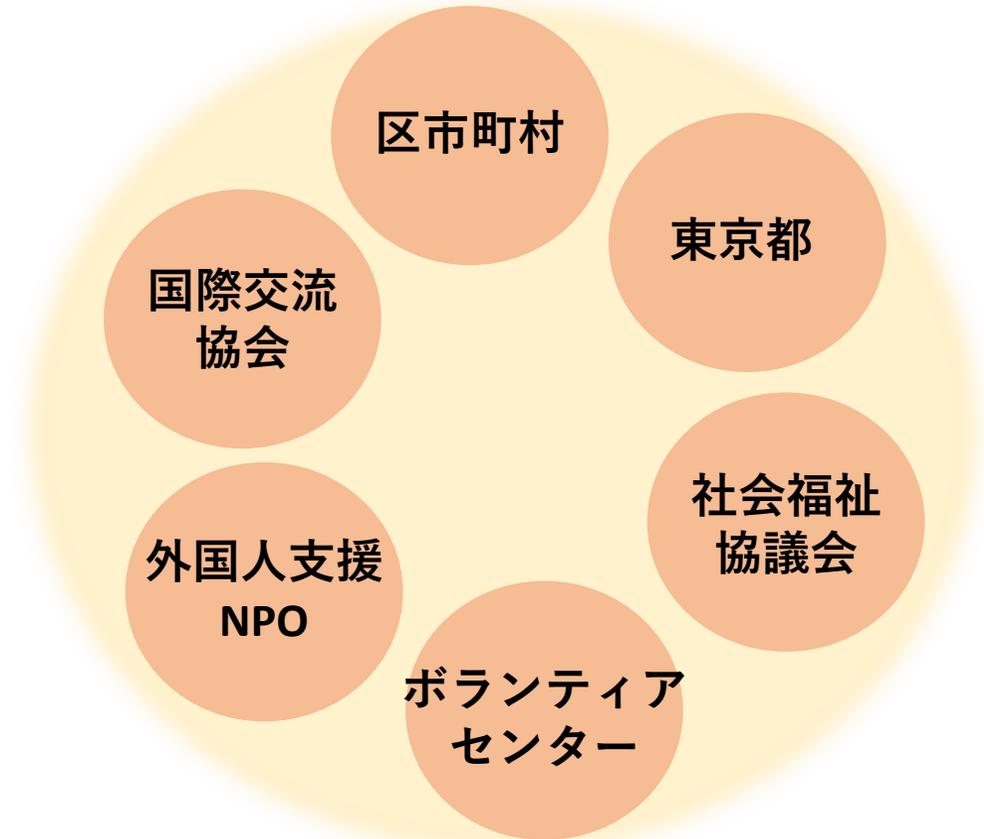
- これまで述べてきた課題は、行政だけでは対応できないものが多い
- 区市の多文化共生部署、教育委員会、社会福祉協議会、支援NPOなど、様々な主体の間で情報共有されておらず、支援メニューが避難者に届いていないケースも見られる
- 地域によっては、区市内部の支援主体だけでは避難者をカバーできない場合も

地域における多様な主体の連携  
場合によっては区市の範囲を超えた連携  
も必要

## 地域における連携、及び、地域を超えた連携の推進

### 主な支援主体

- 東京都  
生活文化スポーツ局、政策企画局 等
- 区市町村
- 国際交流協会
- 外国人支援NPO  
日本語教育、子ども支援、相談 等
- 社協・ボランティアセンター  
など



通訳の提供や会議のコーディネート、支援団体とのつながりなど、ポポートニクとしても地域の連携をバックアップしていく

## 支援の長期化への備えが必要

- 避難の長期化、ウクライナの戦況に鑑み、**現在の状況が次年度も続く**ことが予想される

→ 加えて、避難者の多様化や長期化に伴う**さらなる課題**も

こころの問題、経済状況、子どもの進学、税金・保険・年金等の手続き・取扱い  
社会的な関心の変化、困窮した避難者の状況が見えなくなる恐れ .....etc

- **東京都は、今後も引き続き支援を実施する方向で調整中**
- 区市町村はじめ皆さまにも、**引き続きの支援をお願いしたい**
- 東京都やポプートヌィク・トーキョーへの**要望等があればお知らせを**